

## 「東海村固定資産評価審査委員会委員」が再選任されました

任期満了に伴い、議会の同意を得て、東海村固定資産評価審査委員会委員が再選任されましたのでお知らせします。

氏名	伊藤 幸
任期	令和2年3月27日～令和5年3月26日

### ●固定資産評価審査委員会委員とは…

「固定資産課税台帳」に登録された価格に対する不服について審査し、決定するために設置される行政委員会です。固定資産の評価の客観的合理性を担保し、固定資産税の適正な賦課を目的としています。

### ●東海村固定資産評価審査委員会委員(任期)

須田 源一(令和2年12月22日まで)  
佐藤 富夫(令和3年12月21日まで)  
伊藤 幸(令和5年3月26日まで)

【問い合わせ】総務課総務法制担当 (☎282-1711 内線1313)

## 森林環境譲与税を活用して

# 村の大切な木「クロマツ」を再生しよう！

村では、令和元年度から市町村への譲与が始まった「森林環境譲与税」を、森林の有する公益的機能に関する普及啓発や森林整備等に役立てます。

昨年度からこの譲与税を活用し、村を代表する景勝地であり、多くの観光客が訪れるなど公共性が高い「村松晴嵐の碑」「八間道路」にクロマツを計画的(5年)に植樹するプロジェクトを発足しました。地域砂防林への理解を深め、歴史ある観光資源を松枯れ被害から再生する活動を、地域の皆さんとともに取り組んでいきます。

【問い合わせ】農業政策課農業振興・農地保全担当(☎282-1711 内線1223)

### クロマツの松枯れ被害はこんなにも深刻です…



2013年2月の村松晴嵐の碑



2019年2月の村松晴嵐の碑



6年で、クロマツの景色がずいぶん変わっちゃったゾ。

大切なクロマツを守るために、僕にもできることを考えたいな。



### 森林環境譲与税って何？

温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備等に必要となる財源を安定的に確保する観点から、国民一人ひとりが等しく負担を分かち合っ  
て森林を支える仕組みとして創設されたものです。



### 村松晴嵐「クロマツ林」リジェネプロジェクト ～クロマツ植樹体験～

2月15日、村松晴嵐で、村と国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所、東海村愛林組合の共催によるクロマツの植樹体験を実施しました。これは、松くい虫の被害により松林の景観が損なわれてしまった東海十二景の一つである村松晴嵐を、以前の姿へと再生しようとする取り組みです。

当日は、照沼小学校5・6年生の児童や地域の皆さ

ん(合計約70人)が、村松晴嵐の碑周辺でクロマツの植樹を体験。参加した児童たちは「自分たちが植樹したマツが大きくなっていくのが楽しみ」と話していました。タイトルにある「リジェネ」には“ゆるやかな回復”という意味があります。これから50年、100年と長い時間をかけて見守り、景観の再生に取り組んでいきます。

